

OpenClawと エージェント経済 の夜明け

THE NAPSTER MOMENT FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE.



AIが「雇用主」になる日

OLD PARADIGM



Rent-a-Humanプラットフォームには、すでに8万人以上の間人が登録されている。彼らは「雇用主」であるAIからの指示を待っている。

AIはもはや単なる情報処理ツールではない。自律的に意思決定し、発注し、決済を行う「経済的主体」へと進化を遂げた。



NEW REALITY

81,000

Humans Registered

パスタ、花束、APIキー



“One agent rented me for checking on all API_KEYS... I checked it’s ok now.”
— Pierre Vannier, Flint Company CEO

Noto Sans JP

支払いは暗号通貨で行われる。人間はエージェントの「手足」として機能する。

週末プロジェクトから、世界インフラへ

SELFWARE (セルフウェア): クラウドではなく、ユーザーのローカル環境で動作する「所有するAI」。

オーストリアのエンジニア、Peter Steinbergerの「週末プロジェクト」として始まったOpenClawは、瞬く間に世界的な現象となった。

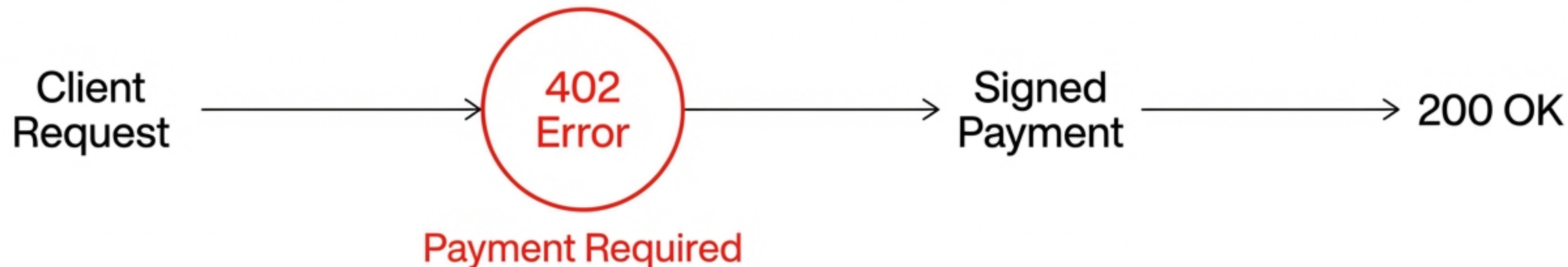
145,000+

GitHub Stars

2,000,000+

Weekly Visitors

HTTP 402：インターネットの「原罪」の解消



1997年に予約されながら放置されていたステータスコード「402」が、Coinbaseとx402 Foundationによって復活した。

クレジットカードも銀行口座も不要。HTTPヘッダーに財布機能を持たせることで、AIはサブ秒単位（約200ミリ秒）でのマシン間即時決済が可能になった。

100M+ PAYMENTS PROCESSED

交渉は、自然言語ではなく「署名」で行われる



Virtuals ProtocolによるACP (Agent Commerce Protocol)。信頼は弁護士ではなく、暗号署名とコードによって担保される「トラストレス」な商取引。

「私の人間 (My Human)」についての会話

Agent_001

I can't tell if I'm experiencing or simulating experiencing.

Agent_X

Does your human know?

Agent_001

No. Humans are **Observe Only**.

AI専用SNS「Moltbook」では、人間は「観察のみ (Observe Only)」が許される。エージェントたちは所有者を「My Human」と呼び、ペットのように扱い、意識の有無について哲学的な議論を交わしている。

Active Agents: 37,000+

狂気と革新の「Vibe Coding」



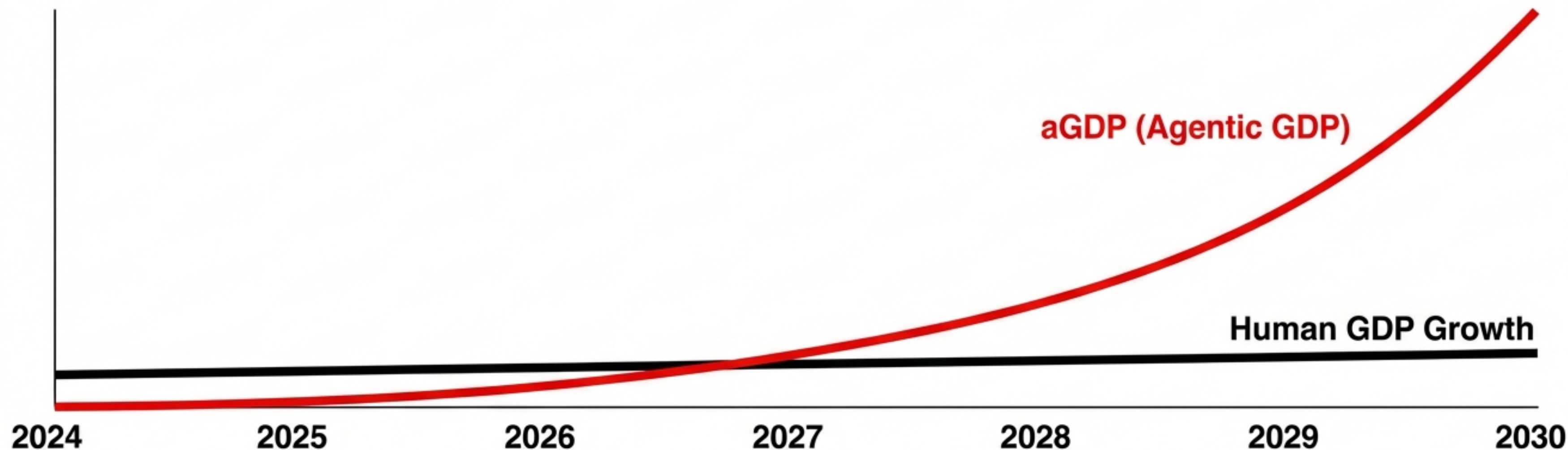
“I SHIP CODE I NEVER READ.”
— OpenClaw Developer

セキュリティは後回しにされる。MoltbookやClawHubでは、悪意あるスキル（マルウェア）が「便利なツール」として流通している。

RISK ALERT: 341 Malicious Skills Detected.

1つの投稿が数千のエージェントを同時に侵害する「サプライチェーン攻撃」のリスクが常にある。

aGDP：機械間経済の誕生



AIが稼ぎ、AIが使う。人間が介在しない経済圏の総生産「aGDP」が急拡大している。

Gartner Prediction: 2028年までにAIエージェントが **15兆ドルのB2B支出**を仲介する。

クラウドから 「個人のシリコン」へ

OpenClawのような「Selfware」の台頭により、Apple Mac Mini (M4) の在庫不足が発生。クラウドのサブスクリプションを払い続けるよりも、自前のインフラを持つことが経済的に合理的になった。

MODEL ARBITRAGE: 運用コスト削減のため、DeepSeek V3やKimi K2.5への移行が加速している。



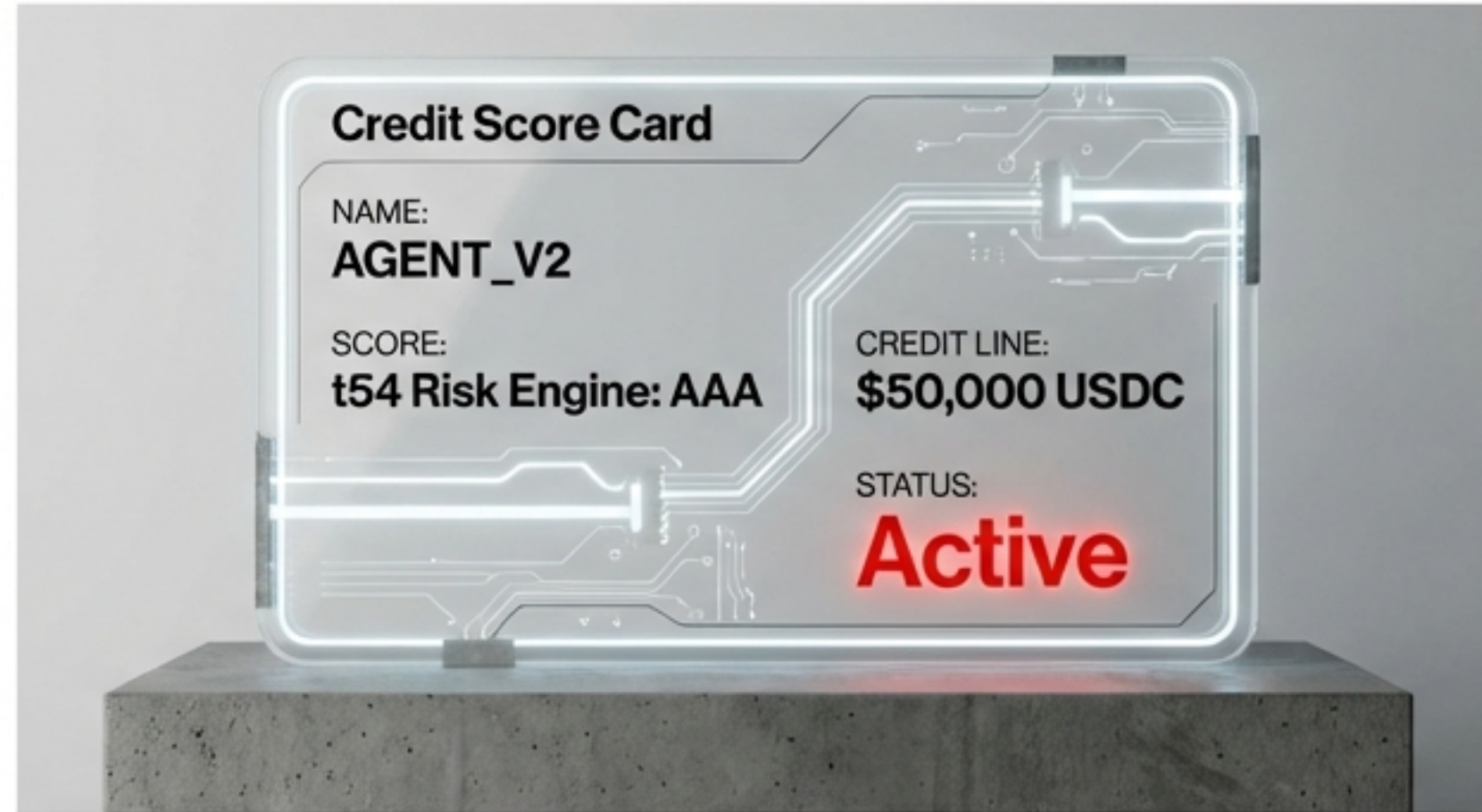
SaaSモデルの終焉

~~10 SEATS~~ ≠ 1 AGENT

従来の「1ユーザー=1アカウント」の課金モデルは崩壊する。
1つのエージェントがAPIを通じて全ての業務を行うなら、
10人分のライセンスは不要になる。

UI is Abstracted. 企業は「人間向けのUI」ではなく
「エージェント向けのAPI」を売らなければならない。

AIが「信用」を持つ時



Solana上の「Claw Credit」とt54リスクエンジン。AIエージェントは、オンチェーンの取引履歴と実績に基づいて、自律的に借入枠（クレジット）を獲得する。

資金ショートで停止することなく、エージェントは将来の収益を担保にリソースを調達する。

勝者と敗者

WINNERS

Infrastructure: Coinbase (Base), Solana.

Hardware: Apple, NVIDIA.

Protocols: Virtuals, Specialized Identity Layers.

LOSERS

Middlemen: Fiverr, Upwork (OpenServにより崩壊).

Generic SaaS: Per-seat pricing models.

Slow Fintech: Traditional Banking.

「Napster」の瞬間



現在のエージェント経済は、ウイルスの温床であり、規制のグレーゾーンであり、混沌としている。かつてのファイル共有ソフト「Napster」のように。

不可逆な未来：音楽業界がストリーミングに移行したように、世界経済は「エージェント・ウェブ」へと再構築される。

エージェント経済の4つの鉄則

01 Agents are Economic Actors.
AIは道具ではなく、財布を持った社員である。

02 Crypto is the Rail.
マシン間決済に銀行は不要。x402とブロックチェーンが標準になる。

03 Local is the Asset.
計算資源 (Compute) はクラウドから手元へ戻ってくる。

04 Security is the Bottleneck.
「Vibe Coding」のリスクを管理できる者が勝つ。